

白藍塾オリジナル

2023年度 入試小論文分析&解答のヒント

2023年4月発行

白藍塾の入試小論文分析は、他の予備校と違って、その問題に対して受験生がどのようにアプローチすればよいのかを具体的に説明している。そのため、この分析を参考にすれば、誰でも合格レベルの答案を書けるはずだ。該当の大学・学部の志望者は、ぜひ、これを読んで、自分で実際に答案を書いてみてほしい。

執筆・大原理志

● 慶応・経済学部

今年度も、課題文を読んだ上で、2つの設問に答える出題になっている。

課題文は、「志向的システム理論」について説明した文章。学術書らしく、丁寧に理屈を積み重ねているが、要は「人間の行動は、その人が合理的にふるまっているという前提の下でしか予測できない」ということを言っているだけだ。だから、例えば課題文半ばの「物理的スタンス」と「設計的スタンス」について説明している部分は読み飛ばしてかまわない。

設問Aは、「志向的スタンスでふるまいを予測すること」、および「その予測に問題が生じるケース」について説明する問題。これは、課題文をきちんと読み取れていれば簡単に答えられるはずだ。「予測に問題が生じるケース」については、課題文の最後の2つの段落で説明されている。対象のふるまいが非合理的である場合、具体的には誤った知覚的信念に基づいているか、対象が自己欺瞞に陥っている場合には、合理的な予測ができなくなってしまうわけだ。そうしたことを、字数に合わせて説明すればよい。

設問Bでは、「電車内で座っている人（甲）の席の前にある人が立つと、甲が席を立った」というシチュエーションを想定した上で、「甲の行動を志向的スタンスで説明できるような3つの異なる状況」を設定し、各々において「席を立つ」という甲の行動の「合理性」について説明することが求められている。

一見ややこしい問題だが、要は、「甲が席を立ったとして、その合理的な理由を3つ考えろ」ということなので、あまり難しく考える必要はない。いずれにしても、400字以内で3つの状況について書かなければならないので、深く掘り下げる余地もないはずだ。

すぐに思いつくのは、「前に立ったのが高齢者（妊婦）だったので、社会的なマナーに従って席を譲った」「前に立った人が咳き込んでいたので、飛沫を避けるために席を立った」「前に立った人がひどく酔っ払っていたので、トラブルを避けるために席を立った」などだろう。他にも、「前に

立ったのが知り合いだったので、二人並んで座れる席に移るために席を立った」なども考えられるし、「前に人が立ったのがたまたま自分の降りる駅だった」なども、前に人が立ったこととの因果関係はないが、席を立つ理由としては十分合理的と言える。

書き方としては、2部構成のA型（具体的な状況の提示＋合理的な理由の説明）を3つ重ねる感じで書けばよい。

* 執筆者の許可なく本紙の全部もしくは一部を無断転載、無断複写することを固く禁じます。

発行・白藍塾総合情報室（03-3369-1179） <https://hakuranjuku.co.jp>